

ReaItendant

リアテンドント®



デジタル採点



事例で学ぶ
Netモラル

事例
で
学ぶ

**学校情報
セキュリティ**



2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

(幹事社) 大日本印刷株式会社

(構成員) 広島県教科用図書販売株式会社

【サービス名】

- ① デジタル採点システム リアテンドント
- ② 事例で学ぶNetモラル
- ③ 事例で学ぶ学校情報セキュリティ

【支援項目】

- ① 成績処理、生徒指導（個別）、職員会議等の会議
- ② 授業、授業準備、生徒指導（集団）
- ③ 研修等

学びのプラットフォーム「リアテンド」

紙のテストをスキャナーで取り込み、採点・集計をデジタル化することで、**教員の働き方改革**を実現。
同時に蓄積されたテスト結果データを分析・活用することで**指導の質を向上**し、個に応じた指導を行うなど **教育DX**を推進します。

導入実績
全国 約250自治体(約3,800校)に導入
※23年度末時点 リアテンドシリーズ累計

紙のテストのデジタル採点 働き方改革

中学校・高等学校向け

今までの先生自作のテストをそのまま使えます！

スキャン

採点時間を50~60%削減！

テストの採点がグーンとラクになった！

■設問ごとにまとめて一覧表示。クリックするだけでサクッと採点！

■1文字なら自動採点 ■自動集計！

小学校向け

赤ペンで採点した教材会社発行の単元テスト

スキャン

■設問ごとの○×△を自動集計！

教育DX

設問ごとのテスト結果分析 指導の質の向上

設問ごとの正答率や、個人やクラスの得点推移が確認できる

授業改善

個に応じた指導

先生同士の学びあい

■授業で手当てすべき問題がわかる！

■指導が必要な児童生徒を見つけられる！

年組	番号	名前	得点率	1-1-1	1-1-2	1-1-3	1-1-4	1-1-5	1-1-6
-	-	学年平均	47.5	93.3	84.4	77.8	81.7	47.8	26.7
-	-	学級平均	38.8	86.7	86.7	100.0	55.0	10.0	10.0
9-9	1	92.01	38.0	○	○	○	△	○	×
9-9	2	92.02	37.0	○	○	○	○	×	×
9-9	3	92.03	46.0	○	○	○	×	×	×
9-9	4	92.04	53.0	○	×	○	×	○	○
9-9	5	92.05	37.0	○	○	○	○	×	×
9-9	6	92.06	38.0	○	○	△	×	×	×

生徒への結果返却で主体的な学びへ

校務システムとのデータ連携

自由にファイルレイアウトを設定

事例で学ぶ Netモラル

◆情報活用能力育成教材

特徴：

『いつでも』『どこでも』『誰でも情報モラル教育を』をテーマに2025年でリリースから20年を迎える教材です。

内容：

最新の事例アニメを毎年追加でバージョンアップ。アニメを視聴するだけで指導すべき最新の内容を理解することができます。
また、指導に必要な資料が全て揃っており準備時間の短縮につながります。
NetモラルCBTやeラーニングなど多彩なコンテンツで子供たちの自立学習を促します。

児童生徒
向け

事例で学ぶNetモラル

- ・児童生徒の情報活用能力育成をサポートする教材
- ・アニメ教材や理解度チェックCBTなど豊富なコンテンツ
- ・教員の指導案・授業準備の負担軽減

事例アニメ教材



「ネットいじめ」「依存」「なりすまし」「動画投稿」など、緊急課題に対応した事例アニメーション。オープンエンド方式のストーリー仕立て(3〜7分程度)で、まとめも付属しています。

解説アニメ教材



短時間で正しい知識を身に付け、ネットワーク社会に関する問題点や適切な活用方法が分かるアニメーション教材。それぞれのアニメーションに5問の問題を付属しています。



分かりやすい事例アニメーションと万全の指導資料で

45分 (50分) 授業がバッチリ!!

事例
で
学ぶ

学校情報 セキュリティ



◆情報セキュリティ育成教材

特徴：

最新の事例アニメを毎年追加。学校現場の『いま』に対応することで最新の情報セキュリティについて学ぶことが可能です。

内容：

学校の情報セキュリティ研修をeラーニング化することで業務の効率化を図ることが可能になりました。オンラインで完結するeラーニングは研修の手配、準備、管理をする担当者の負担を劇的に軽減することが可能です。また、受講者の自由な受講が可能になり学校全体への働き方改革に貢献することができます。

教員向け

事例で学ぶ学校情報セキュリティ

- 学校教育に特化した情報セキュリティ研修教材
- 対面研修不要のeラーニング教材
- 管理画面から各教員の受講状況の把握が可能



- 教室や職員室など、どこからでも実施できます
- 決められた期間までに任意のタイミングで学習可能
- 管理者は、学習履歴や進捗状況が把握できます

コスト削減

見える化

レベルの統一

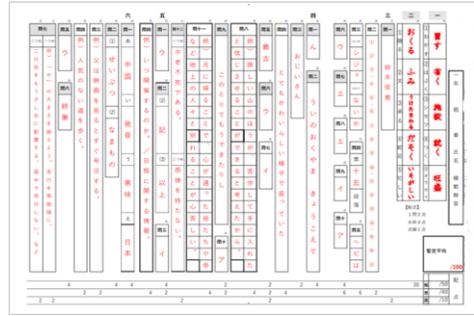
業務の効率化

メリット
多数!



武蔵野市教育委員会様でのリアテンドント活用事例

紙のテスト実施・スキャン



解答用紙 ※イメージ



先生のパソコンから
解答用紙をアップ
ロードして設定

デジタル採点



パソコン上でデジタル採点

■ 串刺し採点による採点時間削減

- ・手が汚れず疲れずサクサク作業ができる。
- ・採点時間が削減され、残業時間が減った。
- ・△を並べて比較できるので部分点の基準がぶれなくなった。
- ・記述評価に一貫性が保ちやすかった。

■ 1文字なら自動採点

- ・採点ミスが多かったのが、自動採点は非常に助かっている。

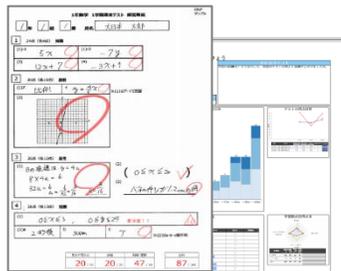
■ 自動計算で計算ミス削減

- ・暗算する労力が不要になったので、気分的に採点が楽になった。

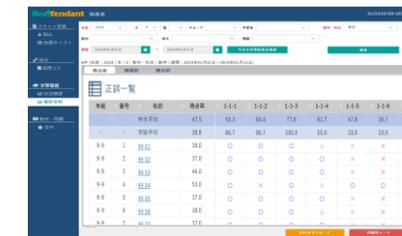
生徒への返却

■ スピーディーなテスト返却

- ・採点時間の削減で早期返却が可能

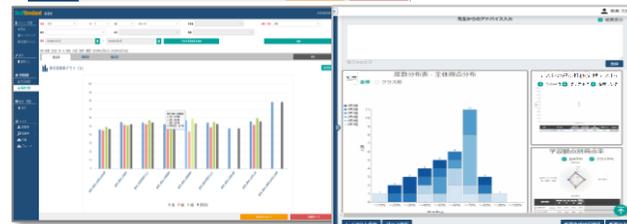


結果の集計・分析



- 設問ごとの正答率
- 時系列推移

- クラス間比較など



教育データの活用

■ 授業への活用

- ・採点時間が削減できたので教材研究や教材作成にあてられた。
- ・設問ごとの正答率がわかるのでふり返り授業に活用できた。
- ・次回授業をするときに意識して教えることができる。
- ・クラス間・クラス内で得点に大きな差が生じていないか確認することができた。

■ 個に応じた指導への活用

- ・(削減した時間で)生徒に向き合う時間にあてられた。
- ・ノーマークだった生徒の学習の変化や課題に気づくことができた。

■ テスト作問への活用

- ・テストの作問改善に活用できた。



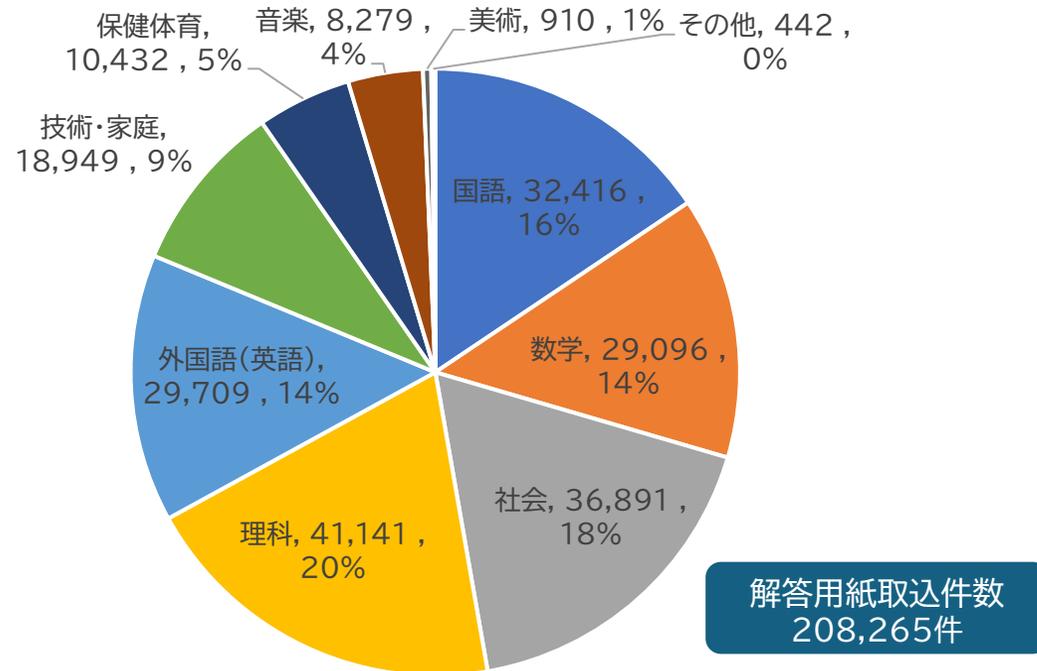
校務システムへの連携

全17自治体118校の合計の利用状況は下記の通りです。
多種多様な教科で、定期テストだけでなく小テスト等でもご利用いただいています。

■ ログ集計期間2024年7月～12月末
■ 全17自治体118校合計数値

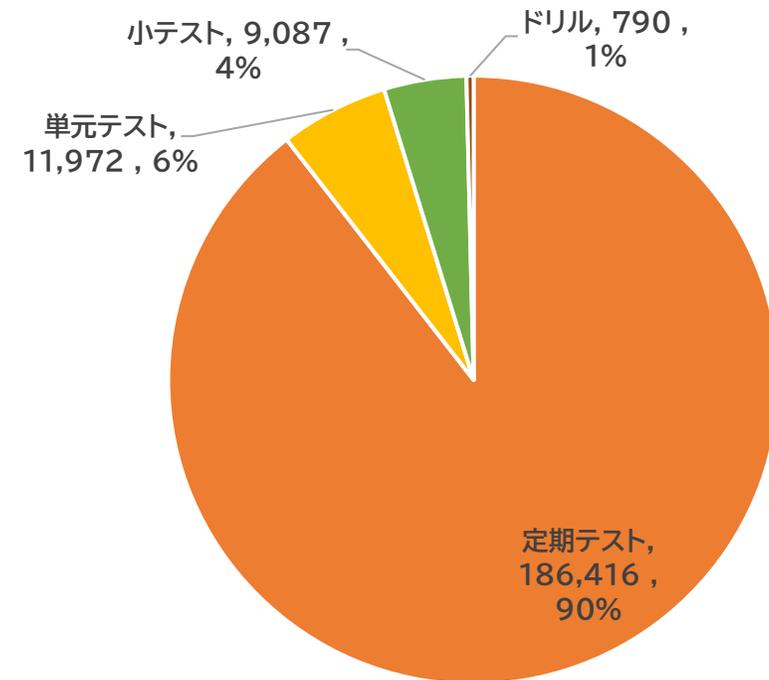
①リアテンドントを活用した教科の種類

教科ごとの解答用紙取込件数(件)と割合(%)



国語、数学、社会、理科、英語などの**主要教科**だけでなく、
技術・家庭、保健体育、音楽、美術、などの**副教科**を含めて、
多くの教科でご利用いただいています。

②リアテンドントを活用したテストの種類



定期テストだけでなく、**単元テスト**や
小テストや**ドリル**など**日常的**にご利用いただいています。

下記の通り、17自治体118校へリアテナントを導入いたしました。

都道府県	学校設置者名	学校数	構成員メインサービス
埼玉県	吉川市教育委員会様	中学校4校	「事例で学ぶNetモラル」 「事例で学ぶ学校情報セキュリティ」
埼玉県	富士見市教育委員会様	中学校6校	
東京都	武蔵野市教育委員会様	中学校6校	
新潟県	新潟市教育委員会様	中学校5校	
新潟県	新発田市教育委員会様	中学校10校	
富山県	射水市教育委員会様	中学校2校	
富山県	上市町教育委員会様	小学校1校、中学校1校	
石川県	野々市市教育委員会様	中学校2校	
石川県	能美市教育委員会様	中学校3校	
山口県	岩国市教育委員会様	中学校7校	
香川県	さぬき市教育委員会様	小学校7校、中学校3校	
鹿児島県	鹿屋市教育委員会様	小学校23校、中学校12校	
群馬県	伊勢崎市教育委員会様	中学校8校	
熊本県	熊本市教育委員会様	小学校3校、中学校3校	
熊本県	南小国町教育委員会様	中学校1校	
新潟県	胎内市教育委員会様	中学校1校	「学校連絡・情報共有サービスCOCOO」
鹿児島県	阿久根市教育委員会様	小学校7校、中学校3校	
合計	17学校設置者	118校	

※3つのコンソーシアム申請分にて「リアテナント」を提供しているため、3申請分での導入実績になります。

※コンソーシアム構成員企業のサービスについては「構成員メインサービス」に記載。

※当報告書の対象については黄色アミをかけています。

1クラスあたりの採点時間の削減効果は下記の通りです。

■アンケート期間2024年12月
 ■アンケートご回答者数73名

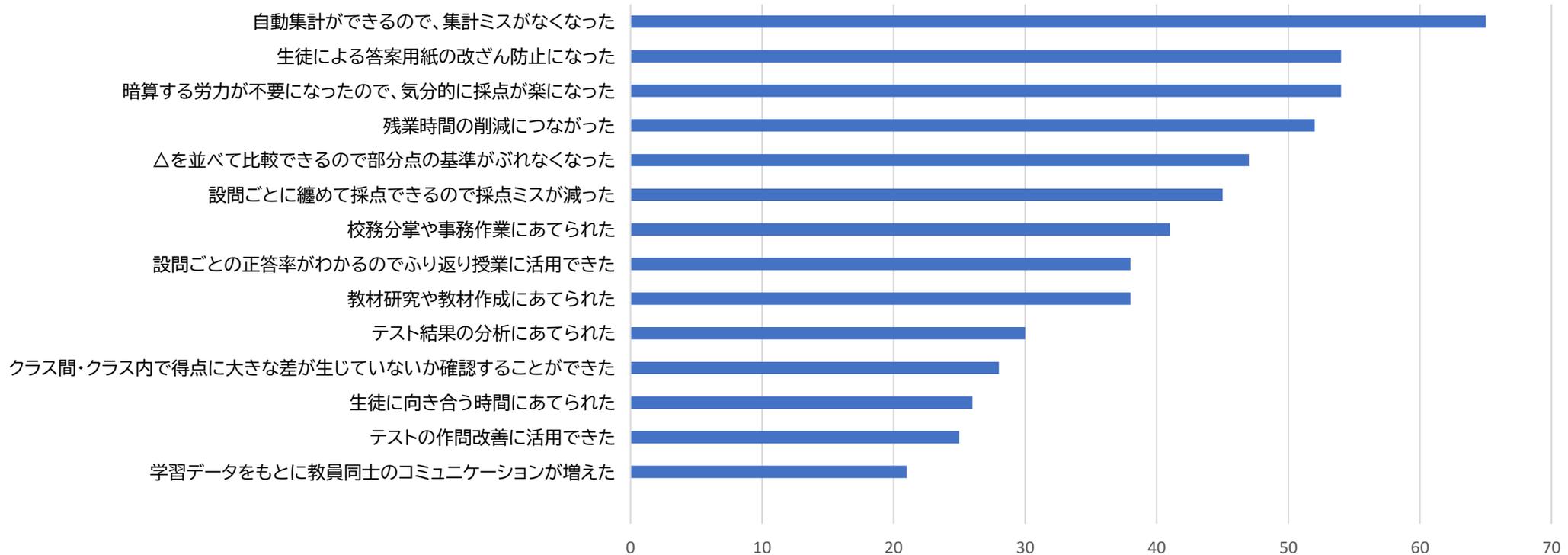
採点に関する作業項目		従来の紙の採点	リアテンドントでのデジタル採点	各作業項目の削減率
1	採点・丸付け作業	159分	76分	52%削減
2	点の見直し	36分	19分	47%削減
3	合計点・観点別得点の集計	50分	12分	76%削減
4	紙の成績管理台帳や校務支援システムに点数入力	22分	10分	55%削減
合計		267分	117分	
削減時間			1クラスあたり 150分削減	
削減率			56%削減	

従来、1クラスあたり平均267分かかっていた採点時間が平均117分となり、**1クラス分の採点時間を平均56% 150分削減**することができました。

採点時間の削減以外にも下記のような効果をご報告いただきました。

■ アンケート期間2024年12月
■ アンケートご回答者数73名
■ 複数回答可

時間削減以外の効果について



時間削減以外にも、集計・採点ミスが無くなった、改ざん防止になった、暗算する労力が不要になったので残業時間の削減につながった、部分点の基準のブレがなくなったなど、様々な効果を実感いただいております。

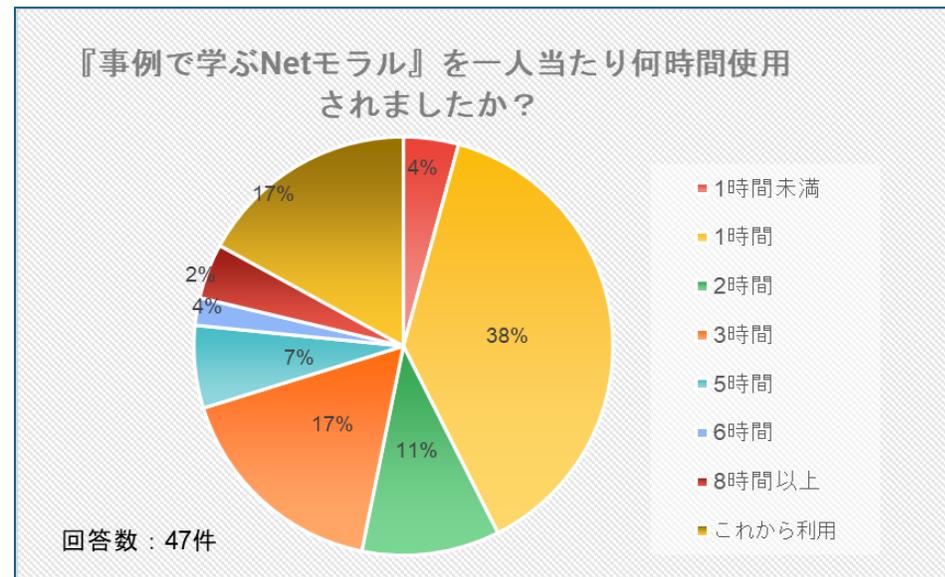
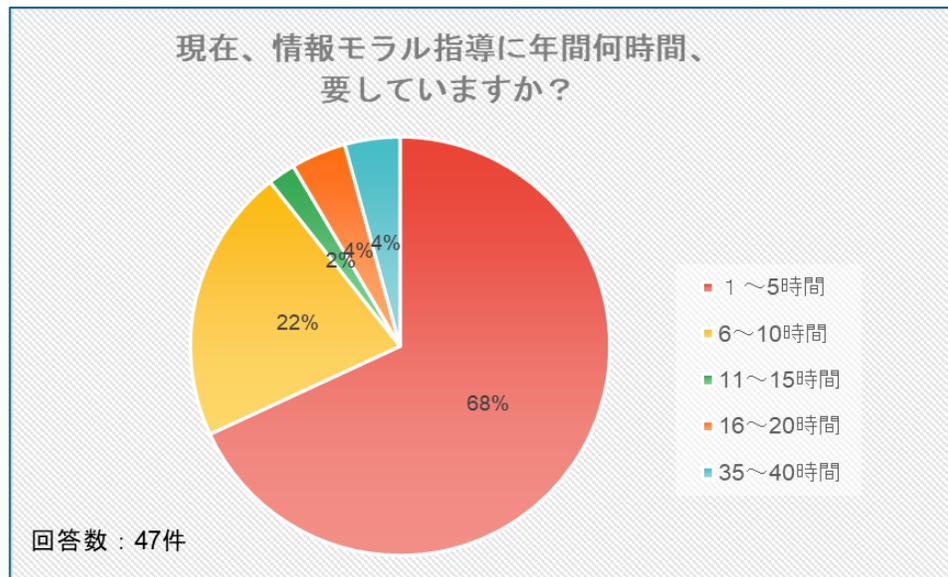
事例で学ぶ Netモラル

◆事例で学ぶNetモラル導入前と導入後について

情報モラル指導は年間を通じて何度も指導することが望ましいとされています。Netモラルはその指導に伴う準備の負担を減らし、教員の実働を減らしながらも児童・生徒の学習時間を増やすことができる教材です。また、宿題として使うなど授業時間を割くことなく指導ができます。その特徴からか、今回導入の短期間で情報モラルの年間指導時間を上回る結果が出ました。

次頁のアンケート結果からも、先生の授業負担は改善された上で学習時間が増えたと推察されます。

※情報モラル指導の年間指導1～5時間と答えた割合68%に対し、今回の導入において使用した時間が1時間未満から5時間と答えた割合を合計すると73%に。



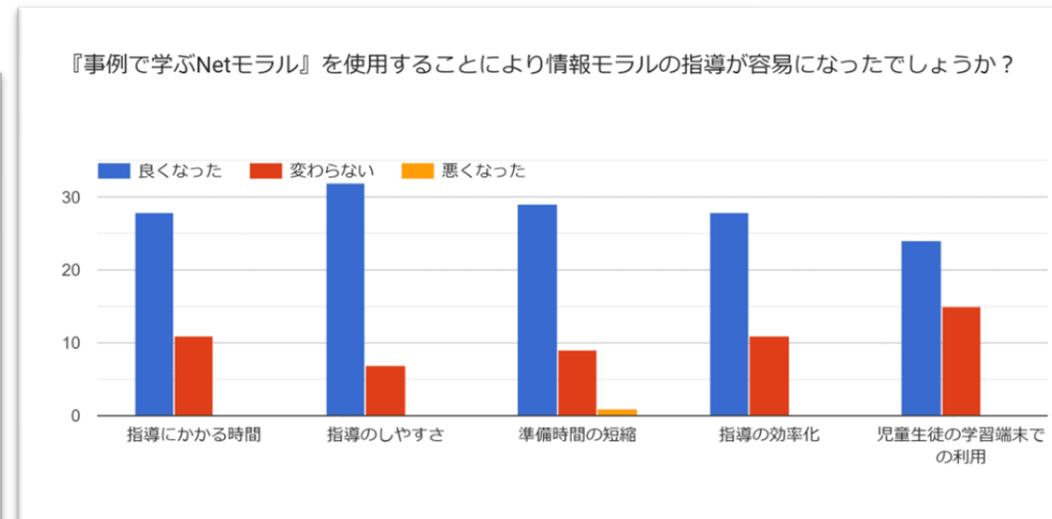
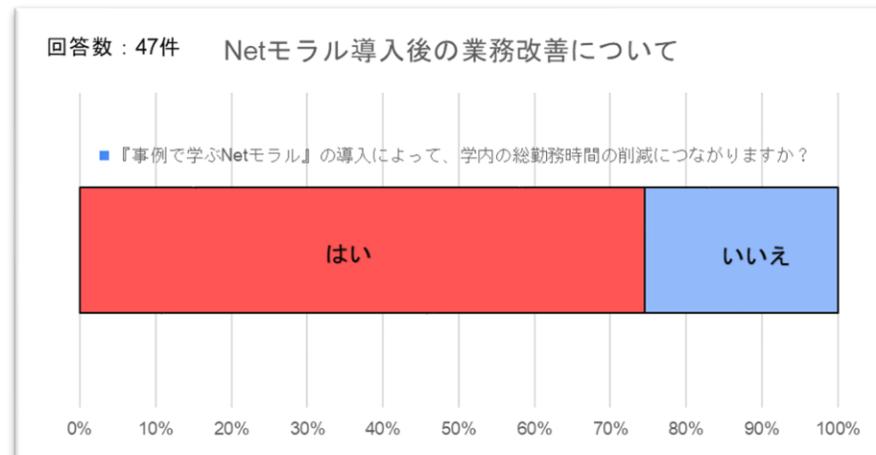
Netモラル

事例で学ぶ

◆事例で学ぶNetモラルによる働き方改革について

情報モラル指導では最新の事例の理解や授業の準備の負担が少なくありません。事例で学ぶNetモラルを利用することで準備にかかる時間や指導へのハードルが下がると感じていただける先生方が多かったです。

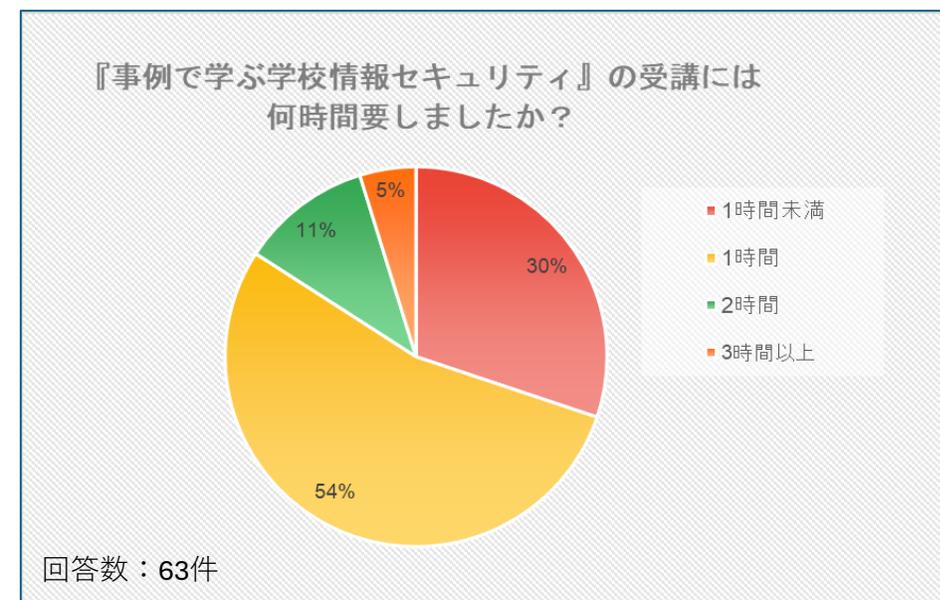
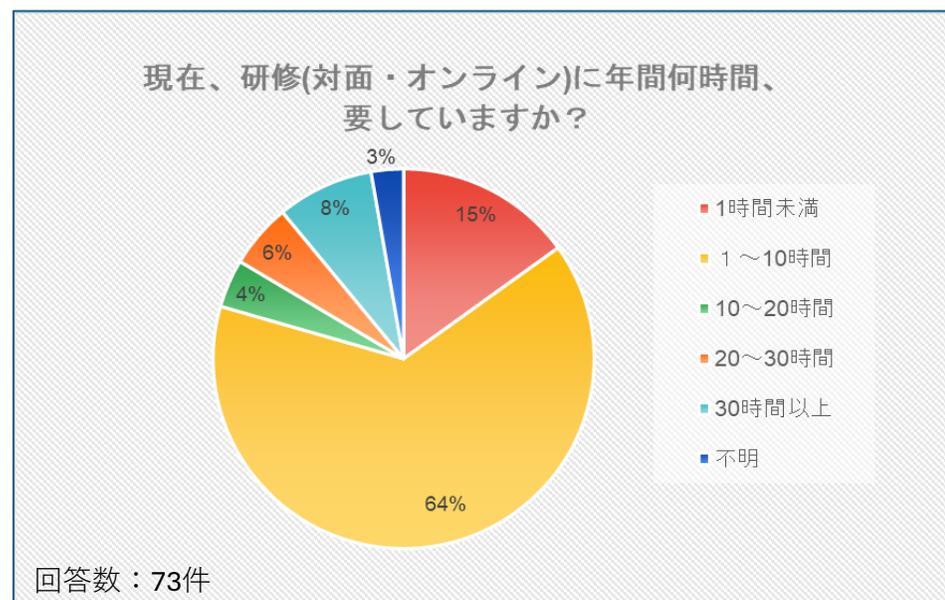
子供だけで視聴することも可能です。宿題として利用するなど活用を進めることで、子供達の自立学習を促すことが可能です。



事例
で
学ぶ
学校情報
セキュリティ

◆事例で学ぶ学校情報セキュリティ導入前と導入後について

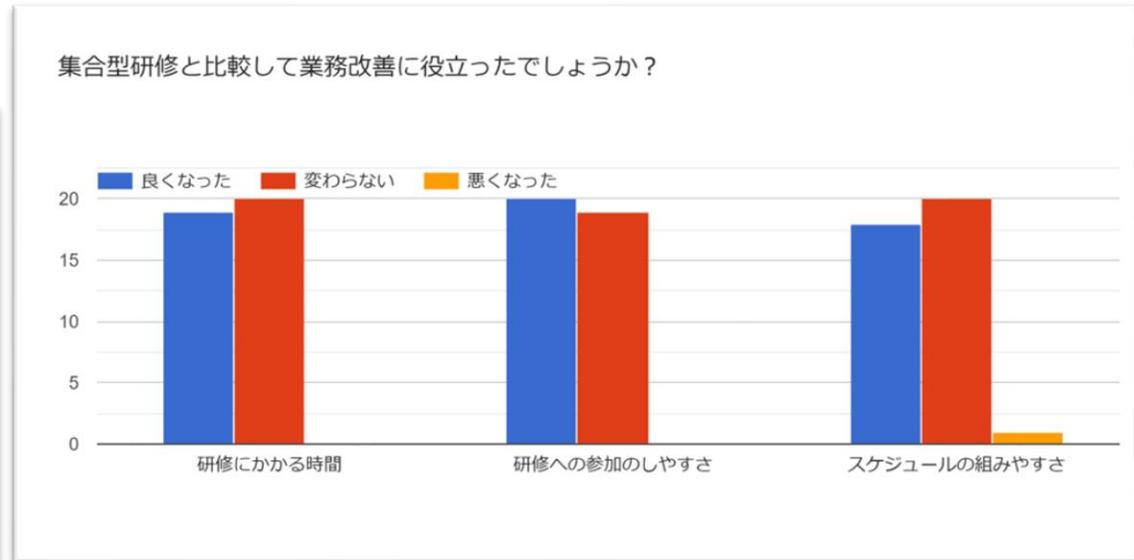
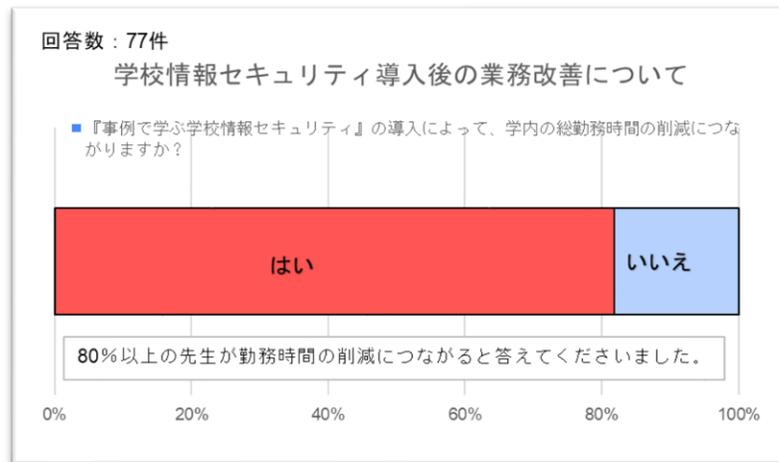
情報セキュリティ研修に関わる時間は地域や教員の経験年次によって異なるようです。操作に関わる時間は1時間未満から2時間で95%を占めます。操作に慣れてしまえば、1回の研修にかかる時間は30分程度で終了し、移動など研修参加に必要なその他の時間を削減することが可能です。



事例
で
学ぶ
学校情報
セキュリティ

◆事例で学ぶ学校情報セキュリティによる働き方改革について

管理者は学校情報セキュリティを利用することで、研修の手配や日程調整、進捗確認などの業務が簡素化され働き方改革の実感が伴います。しかし、現場の職員にとってはスキマ時間に受講できることや移動の必要がないことのメリットよりも、研修を受けるという負担感は変わらないと捉える人の割合が多く働き方改革への貢献はあまり感じていただけなかったようです。



Reattendant

小テスト・定期テストのデジタル採点による採点作業の効率化。
採点時間が50～60%削減。



教育データ活用に取り組む時間を創出



情報モラル教育の手軽な実施により校務効率化、及び子供達の自立学習を促す効果もあり。
学校情報セキュリティ研修については研修の手配や日程調整、進捗確認などの業務が簡素化。



先生方の7割強が校務改善を実感



両メインサービスのご活用により
先生方の「働き方改革」と児童・生徒の「学び方改革」の
両輪を支援

コンソーシアムとしての相乗効果

■「働き方改革」と「学び方改革」の一体的な支援

「リアテンドント」では設問ごとに一覧にできるため採点が効率的になり、採点時間50～60%程度の削減が実現できています。その分、授業準備や生徒指導といった他の校務に時間を充てられると共に、教育データ活用に取り組む時間を創出することで児童・生徒の学び方改革にも繋がっています。

一方、「事例で学ぶNetモラル」では指導に必要な資料が全て揃っていて子供達の自立学習促進にも繋がり、「事例で学ぶ学校情報セキュリティ」では研修をeラーニング化することで管理担当者の負担軽減につながり働き方改革に貢献しています。

このことからコンソーシアムの相乗効果として先生方の「働き方改革」と児童・生徒の「学び方改革」の一体的な支援を実現しました。

導入における課題

- ①ICTに苦手な先生が使い始めるまでには時間がかかる。
- ②ICTに得意な先生が苦手な先生に教えるための負荷が高まる。

■先生からいただいたご意見

- ・職員間で利用状況に差がある。
- ・まだ慣れておらず、大きな時間削減とはならなかった。継続して使用できれば削減できると思う。
- ・模範解答の読み出しや解答用紙の登録に手間がかかる職員がいる。



改善策

- ICTに得意な先生からではなく、不慣れな先生ほど最初の研修にご参加くことで、より早期に全校で活用いただける流れを作る。
- 先生全員がより「メリット」をご理解いただき「期待感」を持っていただけるよう、実際に時間削減に繋がった具体的な事例や先生の生の声の情報提供を随時行ったり、利用ログをフィードバックすることで「みんなも使っているから使おう」という流れを作る。



【活用への課題】

- ・ 利用期間が短かったため、働き方改革への貢献度を実感していただきにくかった。
- ・ 操作方法、活用研修のサポートを実施しきれなかった。
- ・ 一度に複数のサービスが導入され、導入先のサービスの認知不足があった。
- ・ 学校によって活用頻度の差があった。授業や行事などスケジュールが詰まっており時間が取れないケースがあった。





【改善策】

- **現場に無理のない範囲で導入後のフローや日程調整を早めに設定しておく。**
サービスのフローを明確にしてスケジュールに組み込んでもらえるようにサポートをする。
活用の為の時間を取るためにも、できるだけ短い期間で活用へ結び付けられるように日程調整も行う。
- **研修会や勉強会の日時設定を導入時に設定。問い合わせサポート先を明確にしておく。**
研修や操作説明会の実施を学校側に合わせたスケジュールで提案する。
日時についても導入時に設定をし活用につなげる。
- **活用状況を教育委員会と共有し利用できていない学校には重点的にサポートを行う。**
進捗確認の機能やログの状況を共有し、活用が出来ていない学校には操作説明や研修会の提案を行う。
また、設定に困っている場合は必要な設定を代行するなどサポートを手厚くする。



採点時間やミスの削減について

■採点時間の削減

- ・採点業務の時間削減に大きく役立っている。使えなくなると困る。
- ・利用することで間違いなく時間短縮につながっています。
- ・手が汚れず疲れずサクサク作業ができて精神的にも楽だった。
- ・時間削減のおかげで帰宅時間が早まった。
- ・紙の出し入れをしなくてよいので、隙間時間に断続的に採点できるようになった

■操作支援体制の充実

- ・ヘルプデスクにもすぐつながり、的確にご対応いただけます。

■自動集計が便利・楽

- ・自動集計はどの先生も、便利だと口々に言っている。
- ・今までは採点直後に返却する関係で、観点別の点数の記録が煩瑣だったが、クラウド上に自動保存されるため学期末にまとめて貼り付けるだけで良くなり、手間が1つ減った。
- ・自動集計が大変便利だという声がよく聞かれます。
- ・今までは観点で色を分け、計算していたがその必要がなくなったので大幅な時間の削減につながった
- ・返却時の計算ミスが無くなった。・観点別に丸の色を分ける必要がなくなった

■採点ミスが削減できた

- ・採点ミスが多かったのが、自動採点は非常に助かっている。

■部分点の評価精度を高めることができた

- ・記述評価にも一貫性が保ちやすかった。

■不正を防ぐことができた

- ・テスト後にすぐにスキャンするため、答案の保護が出来る。あつてはならないが、万が一の紛失や不正の防止になっている。
- ・生徒の答案用紙の改ざん防止についても、効果ありだと実感しています。

指導の質の向上について

■振り返り授業の質が向上した

- ・正答率を利用して解説できる

■教材研究の時間が増えた

- ・削減した時間で教材研究をおこなった。

■児童・生徒の自律的な学習に繋がった

- ・具体的な正答率を提示できることで、生徒の意欲喚起にもつながった。
- 計算ミスもあり得ないため、生徒が見直しをする際も、問題の正誤チェックや部分点の確認のみとなり、生徒も本質的な部分の見直しに集中できるようになった。



◆事例で学ぶNetモラルについて 児童・生徒の声



- ・インターネットの危険性が理解できた。気を付けようと思った

教職員の声

- ・内容をもっと詳細にして長くしてほしい
- ・闇バイトなどもっと時事にあった内容を増やしてほしい
- ・SNSなど嘘を見抜く視点や事例をもっと増やしてほしい

◆事例で学ぶ学校情報セキュリティについて 教職員の声



- ・事例の数をもっと増やしてほしい
- ・著作権第35条を基に具体例を学ぶ機会があるとよいです
- ・学校現場へのご協力に感謝します
- ・とにかくやるが多すぎ。どんどん新しいものも追加され、多少減ったぐらいでは総勤務時間の変化はない

- 商号 大日本印刷株式会社
- 本社所在地 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
- 電話番号(大代表)03 (3266) 2111
- 創業 1876(明治9)年10月9日
- 設立年月日 1894(明治27)年1月19日(登記)
- 資本金 1,144億64百万円(2024年3月31日現在)
- 売上高 1兆4,248億22百万円(連結) 9,590億76百万円(単体) (2024年3月31日現在)
- 従業員数 36,911名(連結) 9,589名(単体) (2024年3月31日現在)

■主な事業組織

出版イノベーション事業部、情報イノベーション事業部、イメージングコミュニケーション事業部、Lifeデザイン事業部、生活空間事業部、モビリティ事業部、高機能マテリアル事業部、ファインデバイス事業部、オプトエレクトロニクス事業部、コンテンツ・XRコミュニケーション本部、教育ビジネス本部、メディカルヘルスケア本部、ICC本部、左内町営業部、ABセンター



DNP市谷加賀町ビル

■リアテンドアント デジタル採点 ご紹介 ホームページ

<https://www.dnp.co.jp/biz/theme/edu/>

■リアテンドアント デジタル採点についてのお問い合わせ先

メール:gsm.edu.gk@mail.dnp.co.jp

Realtendant



社名 広島県教科用図書販売株式会社

代表取締役 手塚 雄三

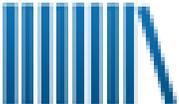
設立 大正13年10月6日

資本金 2000万円

事業内容 県内の小中高等学校において使用する教科書・教師用指導書・教科書準拠教材・参考書・辞書・教材・教具・学校備品などの卸売並びに全国学校・教育委員会へのパソコンハード・ソフトおよび自社製情報モラル教育ソフト販売

尾道本社 住所：〒722-0051 広島県尾道市東尾道10-21 電話：0848-20-2002

広島支店 住所：〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15-12 電話：082-291-1088

 **広島教販**